



2014年7月2日



## 報道関係者 各位

※このリリースは複数の部署にお送りしています

## 明治大学の国際化を牽引

### 政治経済学部は学部独自の留学プログラムが充実

明治大学の国際化への取り組みをリードしてきた政治経済学部(学部長:大六野耕作)では、世界を舞台に活躍できる人材を育成するために、学部独自の留学プログラムを多数実施しています。また同時に海外協定校からも積極的に留学生を受け入れ、相互に理解を深め国際交流を図っています。こうした取り組みは文部科学省「グローバル人材育成推進事業」(タイプB:特色型)に採択されました。

学生の多彩なニーズに応える留学プログラムは特に充実しており、学部独自の派遣だけで年間16プログラム実施しています。今年度からは、米国のノースイースタン大学とのダブルディグリー(両大学の学士取得)、テンプル大学とのデュアルディグリー(学士と修士を取得)プログラムも開始し、世界に貢献する「グローバル公共人材」育成の拠点を目指しています。

また、この春学期には、全米州立大学トップ10に選ばれた、カリフォルニア大学のバークレー校のサマーセッションプログラムに29名を派遣しています。



学部長によるタイ3大学学生への特別講義

短期留学受け入れプログラムも多数実施しており、この5月～7月には、米国のノースイースタン大学、南カリフォルニア大学及びタイのシーナカリンウィロート大学、モンクット王ラカバン工科大学、プリンズオブソクラー大学から、留学生を67名受け入れました。留学生たちは、約1か月の滞在で、政治経済学部の留学生サポーターとの交流はもちろん、英語による専門講義、都内企業や政府機関を視察し、修了時には研究課題に沿った報告やプレゼンテーションを行いました。



南カリフォルニア大学学生との初顔合わせ

### 政治経済学部の学部生からなる『留学生サポーター』が全面支援



ノースイースタン大学留学生との合宿

留学生の日々の学習支援や生活をサポートし、大学内にいながら、同世代の留学生と異文化コミュニケーションのスキルを高めることができる制度で、150名以上が登録しています。特に、本学の厚生施設「山中湖セミナーハウス」での合宿は、生活を共にしながら異文化理解を深めグローバルマインドを醸成することができます。